

## B型肝炎予防接種について



### 1. どんな病気？

- ・ B型肝炎ウイルスの感染により起こる肝臓の病気です。
- ・ B型肝炎ウイルスは、感染力が非常に強く、人から人に伝染して一過性の感染で終わる場合と、ウイルスが排除されずに体内にたまり続け、感染している状態が続いてしまう場合（この状態をキャリアといいます）があります。特に、免疫機能の未熟な乳幼児が感染すると、キャリアの状態になりやすく、将来肝硬変や肝臓がん等命に関わる病気を引き起こすこともあります。

### 2. どうやって感染するの？

- ・ 血液、汗、鼻水、涙などを介して感染します。近年、周囲の人から感染する“水平感染”が問題となっています。特に、乳幼児の感染経路は、家庭内の家族からの感染の割合も増えています。

### 3. 症状は？

- ・ 急性肝炎は、急激に肝臓の細胞が破壊される劇症肝炎を発症し、意識障害をおこすことがあります。
- ・ 慢性肝炎は、微熱程度の発熱、食欲不振、全身倦怠感、悪心、嘔吐などの症状がみられ、徐々に黄疸がみられるようになります。黄疸が出現するのは、小児期で10%以下といわれています。しかし、ほとんど自覚症状がないままに進行し、肝硬変や肝がんに移行する危険性があります。

### 4. 予防は？

- ・ ワクチンを接種することで、体の中にB型肝炎ウイルスへの抵抗力（免疫）ができます。免疫ができることで、一過性の肝炎を予防できるだけでなく、キャリアになることや、まわりの人への感染を防ぐことができます。 ※予防接種を受けても、お子さんの体質や体調によって、免疫ができないこともあります。

### 5. 副作用（副反応）は？

- ・ 主な副反応は、発熱、発疹、注射部位の疼痛、搔痒感、発赤などです。



### 6. 留意事項は？

- ・ ワクチンの容器に乾燥天然ゴム（ラテックス）が含まれている場合がありますので、ラテックス過敏症のあるかたは、アレルギー反応があらわれる可能性がありますので、接種医にご相談ください。

## 7. 予防接種の受け方と時期は？

- ・ワクチンは合計3回接種します。  
生後2か月以後に接種を開始します。2回目は、1回目接種後、27日以上の間隔をおいて接種します。  
3回目は、1回目の接種から20～24週の間隔をあけて接種しましょう。
- ・今までに自費でB型肝炎ワクチンを接種されたことのあるかたは、残りの回数を接種してください。
- ・母子感染等の治療により、今までに抗HBs人免疫グロブリンの投与と一緒に組換え沈降B型肝炎ワクチンの投与を受けたことのあるかたは、接種の必要はありません。

## 8. 予防接種による健康被害救済制度について

定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。

健康被害の程度等に応じて、医療費、医療手当、障害児養育年金、障害年金、死亡一時金、葬祭料の区分があり、法律で定められた金額が支給されます。死亡一時金、葬祭料以外については、治療が終了する又は障害が治癒する期間まで支給されます。

ただし、その健康被害が予防接種によって引き起こされたものか、別の要因（予防接種をする前あるいは後に紛れ込んだ感染症あるいは別の原因等）によるものなのかの因果関係を、予防接種・感染症医療・法律等、各分野の専門家からなる国の審査会にて審議し、予防接種によるものと認定された場合に補償を受けることができます。

既に任意で接種していたが、任意も含め必要回数以上の接種を希望する場合、また、接種対象期間を超えての接種を希望する場合などは、予防接種法に基づかない接種（任意接種）として取り扱われます。

接種費用も自己負担（約1万円）となり、その接種で健康被害を受けた場合は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法にもとづく救済を受けることとなりますが、予防接種法に比べて救済の額が概ね2分の1（医療費・医療手当・葬祭料については同程度）となります。

※給付申請の必要が生じた場合には、子育て支援課へご相談ください。

## 9. その他

接種後30分間は特に体調の変化がおこりやすいのでご注意ください、接種機関もしくは医師と連絡ができるようにしてください。

予防接種に関するお問い合わせ：京丹後市子育て支援課 TEL0772-69-0370